



発行元・編集／山本辰哉 連絡先／090-7549-7659 E-mail／mttatsu1@gmail.com URL／<http://www.tatsuya-yamamoto.com/>

Cocoro net

皆さんこんにちは、岩国市議会議員の山本辰哉です。

米軍再編に伴う、米空母艦載機部隊の移駐が大きな論点となった6月議会が終了し、市としては受け入れを容認する事となりました。とは言えこれからが重要であり、まずは安心安全対策43項目がすべて満たされるよう、そして地域振興策が衰退しないよう今後もしっかり注視してまいります。それでは一般質問のご報告です。

質問内容と答弁 Q: 山本 A: 市

☆弾道ミサイルから生命を守るための取り組みについて

在日米軍からの迅速な情報提供について（基地政策課・危機管理課）……………

米軍岩国基地内に緊急放送は存在するのか？あれば市民で共有できないのか？

基地内に緊急放送は存在する。今後、防災行政無線等での情報提供も考えていく

Q ミサイル発射から着弾までに要する時間は約10分ということだが、Jアラート発動の過程には、まずは米軍の情報が一旦内閣官房に伝達された後、日本国内に発信されるものと認識している。言い換えれば、この数分間でどれだけ早く情報が伝達できるのかが重要なファクターとなる。このような国民の生命に大きく関わるような情報に対しては、在日米軍から当該自治体に、直接地方レベルでの情報提供は不可欠と考える。

そこで、米軍岩国基地内にアナウンスされる緊急放送の有無と、仮に存在するのであればその情報を岩国市民で共有できないのかを問う。

A 米軍岩国基地内に緊急放送設備は設置されている。これは自然災害やテロ等、緊急時に必要な情報を提供するためのものであり、この内容は市庁舎内においてもスピーカーが設置してあり同時に聴くことができる。北朝鮮からのミサイル発射事案など、急を要する情報についてはJアラートでの通知の方が早い場合も考えられるが、提案される通り市民にとって有益な情報であれば、今後防災行政無線などを活用し、市民へ情報を伝達することも考えていきたい。

〈裏面へつづく〉

☆Jアラートの発動を想定した現状把握について

今年度導入の迅速伝達システムとの連携について（危機管理課）.....

現在構築中の迅速伝達システムにJアラートがこういった形で連動するのか？

人的介入を必要とせず、それぞれリアルタイムでの情報提供が可能になる

Q 今年度本市に導入されることになった新システムは、防災行政無線や携帯電話、スマートフォンに情報を一斉送信できるものと伺っている。新聞やニュースでも大きく取り上げられていたが、実際このシステムにJアラートがこういった形で連動するのか今一つ見えて来ない。これらについて分かり易い説明を求める。

A Jアラートの情報が防災行政無線のみならず、防災メールや同時開発するスマートフォンのアプリに対しても人的介入を必要とせず自動的に一斉発信することができるようになり、迅速かつ幅広い情報伝達ができるようになると考えている。

Jアラートの識別について（危機管理課）.....

Jアラートで発信される情報の種類とその識別について問う

Jアラートは25種類ありメッセージ付きなので識別は出来ると考える

Q 現在わが国において、Jアラートで発信される情報の種類がどれだけあり、それらは他の警報とはっきり識別できるのかを問う。

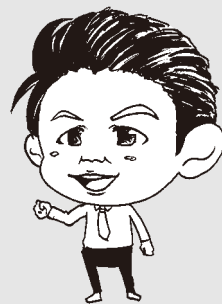
A 現在Jアラートで発信される情報のカテゴリは、「弾道ミサイル情報」、「航空攻撃情報」、「緊急地震速報」、「大津波警報」など全部で25種類存在する。発信される内容については、サイレン吹鳴の後、「ミサイル発射」等のメッセージが繰り返し放送されるので、他の警報との識別はできると考えている。



防災行政無線

徒然記

ミサイル問題に関しては、本来「国民の生命を守る」といった観点から、国会でしかるべき対策を議論して頂きたいところですが、他の件で色々忙しいようです…。ミサイル問題のみならず「自分の安全は自分で守ろう、仲間の安全は仲間で守り合おう」の精神が必要ですね。まずは自主防衛の為に、無料で付く「防災ケーブルラジオ」の申請をしましょう！



☆今日の一句☆ **無料です ケーブルラジオの 申請を！**

6月27日に実施されました“弾道ミサイルを想定した防災行政無線吹鳴訓練”の放送内容をYouTubeにアップしましたのでご視聴できます。
右のQRコードをご利用ください。

